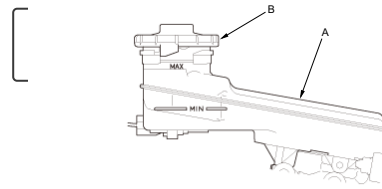


エア抜き

アドバイス

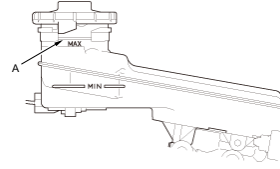
- ブレーキフルード補充時に、ごみや水を混入させないこと。
- 化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキフルードを使用しないこと。
- ブレーキフルードは、Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4を使用すること。
- ブレーキフルードは塗装面を傷めるため、部品類に付着させないこと。付着した場合はすぐに水で洗い流すこと。
- 抜取ったブレーキフルードは再使用しないこと。

1. リフトセット
2. ブレーキフルード抜取り



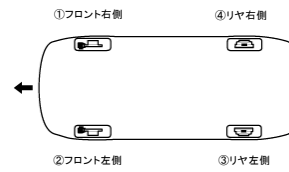
1. リザーバタンク(A)からリザーバタンクキャップ(B)を外す。
2. リザーバタンクからフィルタを外す。
3. タンクからフルードおよび沈殿物を吸取る。

3. ブレーキフルード補充



1. リザーバタンクにフィルタを取付ける。
2. リザーバタンクのMAX(上限)線(A)までブレーキフルードを補充する。

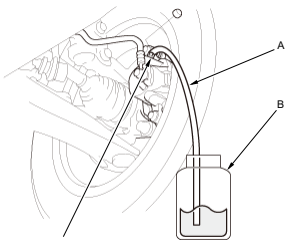
4. エア抜き順序



1. ブレーキフルードのエア抜きはフロント右側から行う。

5. エア抜き

フロント

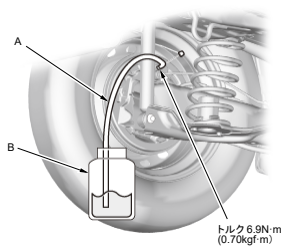


12インチブレーキ仕様車
トルク 8.5N・m (0.87kgf・m)
13インチブレーキ仕様車
トルク 7.9N・m (0.81kgf・m)

1. ブリードスクリュキャップを取外してブリードスクリュに透明チューブ(A)を接続し、適当な容器(B)でブレーキフルードを受取る。
2. アシスタントがブレーキペダルをゆっくりと数回踏み込み、強く踏んだままにする。
3. ブリードスクリュを緩めて、ブレーキフルードとともにエアを排出させる。
4. ブレーキフルードが勢いよく流れ出なくなったら(ブレーキペダルが床についたら)、ブリードスクリュを締める。
5. ブリードスクリュからエアが出なくなるまでステップ2からステップ4の手順を繰返し、ブリードスクリュを締付ける。
[知 風]作業中にリザーバタンク内のブレーキフルードがなくならないように注意し、必要な場合は補充する。
6. ステップ1からステップ5の手順を、各輪ともエアが抜けるまで行う。

1. リザーバタンク内のブレーキフルード量を確認し、必要に応じてブレーキフルードを補充する。
2. 安全な場所で試走し、ブレーキのきき具合を確認する。

リヤ



トルク 6.9N・m
(0.70kgf・m)

6. ブリードスクリュ締付け

1. 各ブリードスクリュを規定トルクで締付ける。
[知 風]ブリードスクリュの締付けは、フレアナットレンチ(市販工具)を用いる。
2. ブリードスクリュキャップを各ブリードスクリュに取付ける。

7. ブレーキきき具合点検